

令和5年度

ヒューマンライフ支援機構 生活科学研究所主催 第21回 生活創造コンクール (SSC2023プロジェクト)

生活科学研究所では、全国の高校生を対象に、家庭・福祉・環境・文化など生活に関わるさまざまな研究を広く募集する「生活創造コンクール」を開催しています。
令和5年度は、2023年10月21日(土)に緑苑祭内で表彰式を開催いたしました。

今年は37校61作品の応募があり厳正な審査の結果、25作品が選出されました。節目である第20回以降は「生活をテーマとする研究・作品コンクール」から新たに「生活創造コンクール」と名称を変更しました。

今年は、さらに新たな取組みとして、一般社団法人 先端加速器科学技術推進協議会(AAA)協賛、大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構(KEK)協力の基、「基礎科学に基づく研究」という募集テーマと「AAA賞」を増設しました。

応募作品の内容は多岐に渡り、食品ロスに関する啓発ポスター考案や、最近話題の完全栄養食に関するもの、地元のマツを救うための暴風対策案など、高校生の視点から丁寧に検証・分析されており、どれも素晴らしい作品でした。

コンクール広報活動では、造形表現学科の学生へポスターデザイン公募を実施しており、今年は3年土田彩子さんのポスターを採用し、各高校へ配布しました。また、研究を形として残しさらなる継続や発展に繋ぐ為の取組みとして、令和3年度から、受賞作品の要旨を掲載した冊子「高校生の萌芽的研究」を発行しています。冊子は参加校や過去に応募のあった学校、指導者あてに配布しています。またホームページ上でも公開していますので是非ご覧ください。



第21回生活創造コンクール表彰式 (2023.10.21)

10月21日(土)の表彰式には、首都圏の4校に加え、福岡県の西南学院高等学校や、石川県の津幡高等学校など遠方からもお越しいただきました。

優秀賞3名の生徒による研究の発表、賞状授与の後、審査員の先生方に祝辞・講評をいただき、最後は集合写真を撮りました。終始和やかな雰囲気で開催できました。



優秀賞の作品を発表する様子



コンクールポスター
造形表現学科3年土田彩子



冊子「高校生の萌芽的研究」

第21回「生活創造コンクール」の受賞研究作品と受賞者

賞	タイトル	所属 氏名/グループ名
優秀賞	効果的な食品ロス啓発ポスター	東京大学教育学部附属中等教育学校 森山実花
優秀賞	完全栄養食は既存の朝食を超えられるのか	渋谷教育学園渋谷高等学校 奈良恵利佳
優秀賞	マツを救う防風対策	西南学院高等学校 小田向日葵
佳作	クロモジのホルムアルデヒドに対する有効性	兵庫県立小野高等学校 2代目かおり班
佳作	酒粕の美味しい活用法	玉川学園高等部 青木英恵
佳作	吃音症の原因と適切な向き合い方は何か	洗足学園高等学校 内田心海
佳作	途上国の持続的農業のために	青森県立久井農業高等学校 FLORA HUNTERS AQUA
佳作	醸造酢と媒染剤を併用した草木染めの研究	大阪府立園芸高等学校 庭園管理部
佳作	津幡高校アクアボックス	石川県立津幡高等学校 農蚕部
努力賞	女子アスリートの「FAT」における課題とその考察	山形県立谷地高等学校 鈴木紅葉
努力賞	本校産のダイダイ乾燥粉末を用いた食品開発	広島修道大学ひろしま協創高等学校 1年3組探究
努力賞	桜の枝を用いた染色	香蘭女学校高等科 桜チップス
努力賞	「へしこ」を活かした創作料理で嶺南地域を有名にしよう	福井県立武生高等学校定時制 チーム#へしこ嶺南#福井
努力賞	歯ブラシディスプレイ	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 篠原拓斗
努力賞	食糧が足りなくなる!? SOYじゃ大豆はどうだい?	京都府立洛北高等学校 大豆班
努力賞	大豆ミートの普及	東京都立国分寺高等学校 稲田瑞季
努力賞	困ったときは、まかせんさい!	広島県立広島皆実高等学校 ひろしまみかん隊
努力賞	快適な住まいのための窓	長崎県立長崎南高等学校 快適追求班
努力賞	弁当のさめにくい保管方法	神戸大学附属中等教育学校 塚本航希
所長賞	ヒアリの日本定着を阻止するために	成城高等学校 西尾優杜
AAA賞	アコヤ貝を用いた制酸薬の合成	愛媛県立宇和島東高等学校 宇東おくすりガールズ
AAA賞	色が及ぼす短期的な記憶への影響についての研究	新潟県立新発田高等学校 新発田高校生物12班
AAA賞	雨に濡れない傘はどのような傘か	千葉市立千葉高等学校 吉田真優
AAA賞	高齢者が安全に食べられるかまぼこの開発	愛媛県立今治北高等学校 松崎美咲
AAA賞	味噌汁の出汁におけるでんぷん分解能力の比較	東京工業大学附属科学技術高等学校 藤澤優杏

アートキャンプ2023

造形表現学科の学生が主催する年に1度のアートプロジェクト。作品やパフォーマンス鑑賞、ワークショップなどさまざまな楽しみ方ができるイベントで、今年度は9/30(土)、10/1(日)の2日間開催しました。

今年度のテーマは、「#美戸端会議」。「井戸の周り(井戸端)ではなく、アートの周り(美戸端)に人々が集い、その日その時その場所であまれた感情を共有(#)し合う。」をコンセプトに、学内だけではなく学外とも交流を図る場となることを目的に実施しました。



アートキャンプ2023 公式HP



アートキャンプ2023 動画

ダンボールアートプロジェクト

例年造形表現学科で行われている、学生主体のイベントで、「アートキャンプ」をもっとひろげたものにしようという目標から発足しました。今年度は造形作家の玉田多紀さんを招いて共同制作を行うことになりました。

モチーフに選んだのは、校章に描かれている白鳩。鳩は「自由と平和」を象徴し、純白は「純潔」を意味しています。

女性として、一人の人間として、社会で大きく羽ばたいてほしいという願いを込めました。翼の羽はワークショップにて参加者に一枚一枚夢や希望を託してもらうことにしました。3月末まで16号館入口に設置しています。

プロの作家にアドバイスを受けながら企画を進めていくことで、他の企画では得られない貴重な経験となりました。どうもありがとうございました。



スケッチくんの落とし物

昨年誕生したアートキャンプの公式キャラクターである、ちょっとドジなナマケモノの男の子、スケッチくんがメインとなった企画です。

内容は、ある日スケッチくんは会場内に4つの大切なものを落としてしまいました。その落としてしまった【てんと虫・蝶ネクタイ・ひよこ・鉛筆】を探してもらい、落とし物と一緒にある4つのスタンプを集めて企画のテントに持ってきてもらうと、スケッチくんからのお礼としてスケッチくんの缶バッジ・ステッカー・シールの素敵なグッズをプレゼントするというものです。

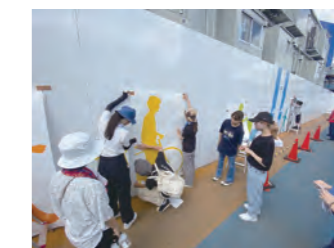


この企画は1、2年生の計3人という少人数のメンバーで力を合わせ、一生懸命準備をしてきました。当初は、この企画が本当に実現できるのか不安が大きかったのですが、担当の先生や先輩方からの多くのサポートをいただき、実現することができました。当日はたくさんの方に参加していただいて、「スケッチくんかわいいたい!」や「楽しかった!」と嬉しいお言葉もいただき、本当に嬉しかったです。私にとってこの経験は忘れられない大切なものとなりました。「スケッチくんの落とし物」に関わってくださったすべての方々、本当にありがとうございました。



十条駅前仮囲いアートプロジェクト

現在再開中の十条駅西口を取り囲む無機質な仮囲いを彩る、というプロジェクトです。また地域の方々との関わりを重視し、アートキャンプをより社会的なプロジェクトにすることを目的としています。企画協力の依頼から自分たちで行動し、制作過程で地域の方々がたくさんのご協力をいただきました。このプロジェクトを通じて出会った方々に助けられ、プロ



ジェクトを完成させる、そんな個人制作とは違う「アートプロジェクト」というものの素晴らしい体験をしました。この体験を次へと繋げるため、第2弾の企画も進行中です。ぜひお楽しみに。

